教職員の働き方

Q 勤務時間などの実態をつかみ計画的な改善を求める

A 実態を把握し、計画的に進める

江藤 先生は定数通り配置されているか。

教育長 欠員はないが、講師の先生などで対応している。

江藤 勤務実態はどうか。

教育長 持ち帰りの仕事時間は把握していないが、超過勤務の方もある。

江藤 先生方の意見も聞きながら、働き方改善のための対策、実行を求める。

教育長 学校の実態を把握し、計画的に勤務時間の減少に取り組む。

安全な道路

Q センターラインや、側溝の土砂だまり、雑草などの管理は

A 区長を通して把握している

江藤 道路の安全についてどのように把握しているか。対応は。

町長 町もパトロールしているが、区長からの要望で把握している。白線は年に3回程度、まとめて修復作業をしている。

江藤 側溝の土砂や雑草の管理は道路愛護によるところが大きいが、負担過重になっていないか。通学路のカラー舗装ができていないところがある。計画は。

カラー舗装のない通学路

町長 交通量の多いところなどは町で対応している。道路愛護は区の状況を確認する。カラー舗装は、まず道路の修繕をし、来年度までには整備する。

生理用品の配備

江藤 小学校トイレ個室に生理用品の常備、中学校の課題改善を求める。

教育長 小学校は学校の判断にゆだねたいと思う。中学校は、周知、改善するよう伝える。

地域おこし協力隊

江藤 支援体制や拠点作りなど、町の支援を強めよ。

教育長 支援員の活動など支援体制を確認し、支援を行う。

江藤美代子 議員

道路整備対策

Q 道路愛護の地域支援策を問う

A 地元の協力を仰ぎ考えていきたい

梅本 公共の道路や水路の保全管理は、今後とも質の高い活動の継続が必要。しかし、現場では、人口減少や高齢化等で様々な課題に直面している。今が支援強化の好機では。

町長 道路愛護は、地域の協力なしでは維持できない。地元行政区の意見も伺い、支援していきたい。

農業振興施策

Q 農業振興策の成果と目標を問う

A 課題解決に向けて取り組んでいく

梅本 農地流動化と規模拡大の現況、スマート農業の取組と営農改善目標を伺う。

町長 農地面積710ha中、約467haが担い手に集積、規模拡大も進んでいる。スマート農業は、ロボットやICT情報技術を活用し、本町の課題である担い手確保・高品質栽培技術の継承・労力負荷軽減が期待できる。JA八女の部会ごとに研究会を立ち上げ実用化を検討中。

歴史教育

Q 町史教材活用の充実を

A 活用事績もあり企画検討したい

梅本 教材活用の目的と経過・これからの取組を伺う。

教育長 町の歴史を学ぶことは、郷土愛を育み、町に誇りと愛着をもってもらう観点から有効。過去、小・中学生向けに、冊子を発行し、社会科や総合的な学習資料として活用した。学ぶべき素材は多く、今後は、教え伝える教職員の研修会も企画したい。

重機を利用した道路愛護

梅本　哲 議員